

ミュージカルドラマ

タビテ

CFNJ聖書学院ドラマクラス

ダビデ

オリジナル

Sight & Sound Theatres 「DAVID」

総監督・演技指導

鍛冶川 紀子

脚本・演出・音楽プロデュース・歌唱指導・録音

岡田 雄基

目次

*ストーリー	-----	5p
*メインの登場人物	-----	6p
*配役	-----	7p
*キャスト陣	-----	8p
*プログラム	-----	10p
*曲	-----	11p



ストーリー

だれよりも神に愛され、その御心にかなった者と言われ、イスラエルの王となったダビデ
しかし、その生涯は苦難に満ちたものだった。

少年ダビデは、母の祈りに支えられ、野で羊を飼いながら、真の羊飼いの声を聞き、その御
言葉に従い、羊飼いの心を学んだ。

イスラエルの民は王を求めた。預言者サムエルは心を痛めたが、主は民の願いを受け入れ、
民の中からひととき優れた青年サウルを選んでイスラエルの王とした。しかしサウルは最後
まで主の御言葉に従うことが出来ず失脚した。

民はダビデを愛し「サウルは千を打ち、ダビデは万を打った」と叫ぶ。
妬みに駆られたサウルはダビデを敵とみなし、殺そうと執拗に追い回す。

ダビデは荒野に逃げ、身を隠す。そこは主との深い交わり場となり、ダビデは苦しみの中
から多くの賛美を生み出し、主に捧げた。

ついに時が来て、ダビデが油注がれ、イスラエルの王となった時、ダビデはその王服を脱ぎ
捨て、主の御前で喜び踊った。“王なる主！この方こそ万軍の主。イスラエルにこのお方の
他に王はいない！”と叫びながら・・・

その人生でバテ・シェバと姦淫の罪を犯し、ウリヤを死に至らしめるという大罪を犯したダ
ビデだったが、彼は真心から悔い改め、主の御前にへりくだった。その砕かれた心を主は受
け取り、彼の罪を赦して下さった。

ダビデは真の礼拝者となっていく。

メインの登場人物



ダビデ

この物語の主人公。羊飼いだっが、サムエルに油を注がれてイスラエルの王となる。



サウル王

はじめサムエルに油注がれるが、神様の命令に背いたためダビデに王位をとられてしまう。



バテ・シェバ

ウリヤの妻。屋上で入浴中にダビデの目に留まり、体の関係を持ってしまい子供を妊娠する。ソロモン王の母。



ミカル

サウル王の娘。
ダビデと結婚するが、ダビデが踊って賛美するところを蔑んだため、不妊となる。



ナタン

預言者。ダビデの罪を暴く。



サムエル

預言者。サウル王とダビデに油を注ぐ。

配役

*ダビデ	-----	岩村 一義
*サムエル	-----	岡田 雄基
*サウル王	-----	北坂 信頼
*ナタン	-----	木藤 穰
*バテ・シェバ	-----	中澤 美樹
*ミカル	-----	宮内 仰
*長老	-----	後藤 鉄成
*妹	-----	タヒラ カオリ
*ゴリヤテ	-----	岡田 雄基 (声のみ)
*兵士	-----	磯谷 健太
*兄	-----	木藤 穰
*少女1	-----	タヒラ カオリ
*少女2	-----	中澤 美樹
*少年1	-----	ロケ ジョシュ 輝
*母	-----	鍛冶川 紀子
*少年ダビデ	-----	杉浦 誉
*ナレーター	-----	濱田 めぐみ (声のみ)
*エッセイ	-----	後藤 鉄成
*祭司1	-----	鍛冶川 利文
*祭司2	-----	後藤 鉄成
*祭司3	-----	伊藤 仁
*祭司4	-----	ロケ ジョシュ 輝
*スポットライト	-----	ロケ ジョシュ 輝
*照明	-----	濱田 めぐみ

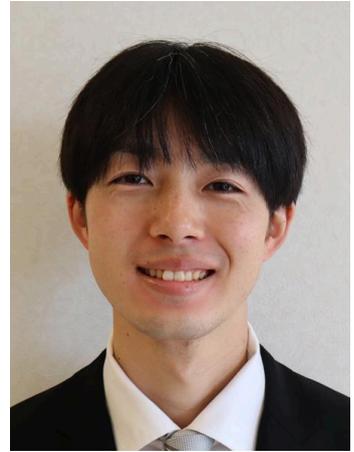
キャスト陣



岩村 一義



北坂 信頼



岩村 一義



岡田 雄基



磯谷 健太



後藤 鉄成



中澤 美樹



宮内 仰



タヒラ カオリ



鍛冶川 利文



鍛冶川 紀子



濱田 めぐみ



伊藤 仁



ロケ ジョシュ 輝



杉浦 誉



プログラム

	トラック名	ページ数	登場人物
プロローグ	王が欲しい	11p	サムエル・民・長老・サウル
第一幕	羊飼いの声	11p	母・少年ダビデ
第二幕	詩篇23篇	11p	ダビデ
	油注ぎ		サムエル・エッサイ・ダビデ
第三幕	ゴリヤテ		ゴリヤテ・サウル王・兵士・兄・民・ダビデ
	戦いは主のもの	12p	ダビデ・ゴリヤテ・兵士・民
第四幕	万を打った	12p	民・少女1・少女2・兵士・ダビデ
	サウルの嫉妬		サウル王・兵士・ダビデ
	槍投げ		サウル王・ダビデ・サムエル
第五幕	息あるもの皆	12p	ダビデ・サムエル・サウル王・兵士・民
	ダビデとサムエル		ダビデ・サムエル
	王冠を守るためなら	13p	サウル王・兵士
第六幕	詩篇56篇	13p	ダビデ・母・少年ダビデ
第七幕	被造物の賛歌	13p	ダビデ
第八幕	戴冠式		ナタン・ダビデ・民・祭司
	詩篇24篇	14p	ダビデ・民・ナタン・少女1・少女2・祭司
	ミカルのさげすみ		ダビデ・ミカル
第九幕	バテ・シェバ		ダビデ・兵士
第十幕	ウリヤを呼び戻せ		ダビデ・バテシェバ・ナレーター
	王冠を守るため	14p	バテシェバ・ダビデ・兵士
第十一幕	あなたはその男です		ダビデ・ナタン・少年ダビデ エッサイ・サウル王・サムエル・少女1・母
	詩篇51篇	14p	ダビデ
	ダビデとナタン		ダビデ・ナタン
	詩篇22篇	15p	ダビデ
フィナーレ	フィナーレ	15p	全員

曲

王が欲しい

王が欲しい 王が欲しい 他国のような王が欲しい 王が欲しい

羊飼いの声

今静まり御前に出なさい 聖なる主は共にいる 主はあなたに歌を授けた 被造物と共に主をたたえよ
ハレルヤ (ハレルヤ) ハレルヤ

羊飼いを信頼し 耳を傾け 従いなさい

羊を緑の牧場に伏させ 水のほとりに 導きなさい
ライオンのように戦いなさい 羊はあなたを頼ってるのよ

力は主からのもの 導くことは愛すること 羊飼いを信頼し 耳を傾け 従いなさい
耳を傾け 従いなさい

詩篇23篇

主は羊飼い 私は乏しくない 恵みが 私を追って来るでしょう
主の家に 住みたい

牧場へ 主はわたしを伏させて いこいの水辺へと 導かれます
あなたの 杖は私の慰め 御名のゆえ義の道へ 導かれます

御心求めます 御心求めます ヘイ!

死の谷間も恐れない あなたが共におられるから

おお 主は羊飼い 私は乏しくない 恵みが 私を追って来るでしょう
主の家に 住みたい 永遠に 御心求めます 御心求めます

戦いは主のもの

どこへ行けましょう あなたから離れて 御前を離れて どこにのがれよう
海の果てにも あなたの御手が 天に上っても あなたはおられる

主は剣や 槍はいらない すでに戦いに 勝利したから

戦いは 戦いは 戦いは 主のもの

万を打った

サウルは千を打ち ダビデは万を打った

希望に満ち溢れ 新しい歌を歌おう 王は頑張って 千を打った

「でもダビデは万を打った」

彼は巨人ゴリヤテを 石投げだけで倒した 王よりも多くのことをしてくれた

息あるもの皆

ハレルヤ

息あるものたたえよ 皆主をほめたたえよ

角笛鳴らし 豎琴鳴らせ 主が勝利を収められたから

天は栄光を語り告げる 太陽と月と空と星

稲妻 雷 雲と雪 地のすべての生き物よ

山や丘 谷や川 荒れ狂う川や海さえも

若い者 年老いた者 全ての国民よ

主をほめたたえよ

王冠を守るためなら

こんなことは望んでいない 前はもっと幸せだった 逃げ隠れた でも神と人は私を王にした
努力した 歌おうと でもメロディーが分からない 多すぎる 負担や責任 俺が悪いのだろうか
人を助け敵を愛した でも俺には容赦ない 犠牲を払い 尽くしたさ でも俺から霊を奪った

ベツレヘムの羊飼いを助けた 娘をあげ 土地をあげた でもすべてを奪おうとする
いつも歌を歌ってくれた 裏切るなんて知らなかった
息子だった 今は敵だ 愛したのは王になるためか？

奪うものは奪う 罪さえ犯すさ この王冠を 守るためなら
盗んでやるさ 人も殺すさ 敵は潰す 王冠を 守るためなら

詩篇56篇

私の 敵はあとをつけ 待ち伏せ いのちを狙っている 私の涙を たくわえ 御翼の下に 隠れさせて
わが神 どうして私を 見捨てたのですか
ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

この心 張り裂けても 主よあなたを 信頼します
荒野でも 暗い場所も 主よあなたを 信頼します
もう恐れない 主は隠れ場 主よあなたを 信頼します

被造物の賛歌

なんと素晴らしい 空の星達 創られたものは あなたを歌う 私も共に あなたを歌う
鹿が水を慕うように わがたましいはあなたを慕う 被造物と共に あなたを歌う あなたを歌う
あなたは海を命で満たし 山を築き丘を彫られた だから私も あなたを歌う
世界は 賛美し 歌う あなたを 賛美し 称える

主の恵みは 天にあり その真実 は 雲に及ぶ すべては歌う あなたの偉大さ
風に乗られ 光を着 私を友と呼ばれた 始めから終わりまで 偉大なお方

なんと素晴らしい 空の星達 私のことも 母の胎内で
とても素晴らしく 創られた方 だから私も あなたを歌う

詩篇24篇

王なる主 王なる主

ハレルヤ

戦いに 力ある主 万軍の主 この方こそ栄光の王

主の山に 登るのは 御顔を慕い求める人々
だから門よ 頭あげよ 栄光の王が入って来られる

戦いに 力ある主 万軍の主 この方こそ栄光の王 叫べ

王なる主 万軍の主 王なる主 救い主 王なる主 皆叫べ (皆叫べ 万軍の主に)

王冠を守るため

私が悪いの 呼ばれただけ 過ちは犯さないと思っていたのに
もう戻れない 元には 裏切ってしまった どうすればいいのだろう おお もうわからない

過ちは犯さないと と思っていたのに 責められるのは俺じゃない 元には戻れない

嘘はつきたくなかった (戻れない) 死んでほしくもなかった この王冠を守るためさ
嘘だっつつくさ 隠し通すさ (やり直したい) 葬り去る (教えて) 王冠を守るため

誠実で忠実な人だった

詩篇51篇

私にきよい心を造り 御前から 投げ捨てず 聖霊を 取り去らないで
救いの喜びを 私に戻して 御前から 投げ捨てず 聖霊を 取り去らないで

あなたに罪を犯し 悪を行いました
砕かれた骨を 喜ばせて きよめてください 雪よりも白く

詩篇22篇

あなたを取り囲み 服をくじ引きし 骨をみな外し 釘打たれた
あなたは歌う「わが神 どうして私を 見捨てたのですか」

力が尽きても あなたは辱めを受け 命を懸けわたしを 選んでくれた

フィナーレ

ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ 偉大な ハレルヤ 御心求めます
息あるものたたえよ 皆主をほめたたえよ 偉大な ハレルヤ 御心求めます
息あるものたたえよ 皆主をほめたたえよ 偉大な ハレルヤ 息あるものたたえよ

主は羊飼い 私は乏しくない 恵みが 私を追って来るでしょう
主の家に 住みたい

おお 主は羊飼い 私は乏しくない 恵みが 私を追って来るでしょう
主の家に 住みたい 永遠に永遠に

「サウンドトラック」



「YouTube」





"たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても
私はわざわいを恐れません。
あなたが私とともにおられますから。"

詩篇 23篇4節

聖書 新改訳©2003新日本聖書刊行会